



幼稚園児が父兄と一緒に”論語”を学びました

1月15日市内の豊島なでしこ幼稚園が、園児と父兄を対象とした論語教室を成美教育文化会館で行いました。

「親子で学ぶ教養講座」の一環で、論語を通じて”思いやり”や”愛”など、人としての大切な”心”を学ぼうというものです。

先生は、東久留米市・論語素読の会、比田井会長です。



最近、“うそ”をついた人、またはつかれた人いますか？

あるいは、“ありがとう”と言えた人、または言われた人いますか？

そんな時、どのような気持ちになりましたか？

“いやな気持ちになった”……
“うれしかった”など、とても素直な返事が返ってきました。



どうしていやな気持ちになったのかな？、どうしてうれしかったのかな？
先生の問いかけに、館内は優しい雰囲気になりました。

”**学**びて時に**之**を**習**う” 皆んなで大きな声で読みました。

お父さん、お母さんの言い方、振舞いが大切ですよ……それを子どもたちは覚えていきます。

3歳から5歳では、80%ものことが、頭に心にインプットされていくのだそうです、
内容がよくわからなくても、素読することの意味があるのですね。

内容は難しくても、園児たちは、一心に繰り返し復唱していました。

とても優しい気にあふれた1時間が、アツという間にたちました。

(写真は、皆さんの了解のもとに掲載しています) 市民レポーター 球歩